



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL http://housefoods-group.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 博史
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 柴田 亮 (TEL) 03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	143,434	4.7	7,456	39.3	8,010	49.0	4,328	2.9
29年3月期第2四半期	136,975	21.9	5,351	32.3	5,377	12.2	4,208	42.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 7,867百万円(-%) 29年3月期第2四半期 675百万円(△49.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	42.12	—
29年3月期第2四半期	40.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	364,018	272,453	66.1	2,342.72
29年3月期	353,888	266,615	66.5	2,289.43

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 240,721百万円 29年3月期 235,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
30年3月期	—	18.00			
30年3月期(予想)			—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	291,600	2.7	15,000	21.8	16,100	15.4	8,600	△1.0	83.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	102,758,690株	29年3月期	102,758,690株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	6,020株	29年3月期	5,423株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	102,752,936株	29年3月期2Q	102,683,430株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12
(追加情報)	13
3. 補足情報	14
(1) 業績の状況	14
(2) グループ会社数	15
(3) 連結損益計算書の状況	15
(4) 連結貸借対照表の状況	17
(5) 連結キャッシュ・フローの状況	17
(6) 設備投資の状況	18
(7) 減価償却費の状況	18
(8) 主要経営指標等	18
(9) 通期目標	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、地政学的リスクへの懸念や国際経済の不確実性が高まる一方、国内においては、雇用・所得環境の改善を背景に全体では緩やかな回復基調にありました。食品業界におきましては、市場の成熟化が進展する中、生活者の食行動の変化は一層鮮明となっており、多様化する食ニーズへの対応、新しい価値の提供が求められております。

当期は、当社グループにとって第五次中期計画の最終年度にあたり、“「食で健康」クオリティ企業への変革”に向けて、国内既存事業の収益力強化と新規需要の創出、海外事業の成長加速に向けた施策を推進いたしました。その一環で、平成29年8月にはマロニー(株)の株式を取得し、同社を連結子会社としております。なお、当第2四半期連結累計期間には同社の業績は含んでおりません。

この結果、グループ全体の売上高は香辛・調味加工食品事業、海外食品事業の伸長などにより、1,434億34百万円、前年同期比4.7%の増収となりました。

利益面では、増収効果やグループ各社の収益力向上の取組が寄与し、営業利益は74億56百万円、前年同期比39.3%の増益となりました。経常利益は80億10百万円、前年同期比49.0%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前連結会計年度に(株)ギャバンの連結子会社化に伴う特別利益の計上や税制改正に伴う壺番屋の繰延税金負債の取崩しの影響もあり、43億28百万円、前年同期比2.9%の増益に留まりました。

セグメント別の業績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
香辛・調味加工食品事業	66,906	107.3	4,770	131.8
健康食品事業	17,127	95.9	840	74.3
海外食品事業	10,727	124.6	1,416	184.5
外食事業	25,808	101.5	△39	—
その他食品関連事業	30,576	101.3	966	222.5
小計	151,144	104.7	7,953	135.9
調整(消去)	△7,710	—	△497	—
合計	143,434	104.7	7,456	139.3

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

当事業セグメントは、「食の外部化」などの事業を取り巻く環境変化に対し、「より健康、より上質、より簡便、より適量」にフォーカスした製品・サービスの提供を通じて、「既存領域の強化」および「新規領域の展開」に取り組んでおります。

カレー類では、「食の外部化」の影響でルウカレーは前年を下回った一方で、レトルトカレー製品は複数個パックの「プロクオリティ」が簡便性、汎用性から大きなご支持を頂いた他、外食、中食マーケットへの提案を強化した業務用製品が伸長したことで、カレートータルでは前年を上回りました。加えて、スパイス製品、スナック製品も売上を伸ばしております。

以上に加え、第1四半期連結会計期間まで(株)ギャバンの新規連結効果が発生したこともあり、香辛・調味加工食品事業の売上高は669億6百万円、前年同期比7.3%の増収、営業利益は47億70百万円、前年同期比31.8%の増益となりました。

<健康食品事業>

当事業セグメントは、減収減益という結果に終わりました。

主力ブランドである機能性スパイス事業の「ウコンの力」は、顆粒タイプは堅調に推移したものの、お客様の飲酒シーンが多様化する中でドリンクタイプの苦戦が続き、セグメント業績を押し下げる大きな要因となりました。

ビタミン事業では、「C1000」シリーズが底堅く推移した他、育成ブランドとして注力する「1日分のビタミン」がお客様のご支持を頂き、ビタミンの提供領域拡大が進みました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は171億27百万円、前年同期比4.1%の減収となりました。営業利益は減収影響に加え、ブランド育成のためのマーケティングコストの増加影響もあり、8億40百万円、前年同期比25.7%の減益となりました。

<海外食品事業>

当事業セグメントは、重点3エリア（米国・中国・東南アジア）における事業拡大のスピードアップと収益力強化に取り組んでおり、3エリアとも順調に事業拡大を進めることが出来ました。

米国では、豆腐および豆腐関連製品が主力のアジア系チャネルに加え、米系チャネルで伸長した他、業務用製品の新規取扱いが進むなど好調に推移いたしました。

中国では、「カレーの人民食化」に向けた活動の深化に取り組み、前期に取り組んだ代理店・販売体制再構築の効果が表れた結果、事業規模の拡大に加え、収益基盤の強化並びに効率化が進みました。

東南アジアでは、タイ機能性飲料事業において前期に引き続き「C-vitt」の取扱いが拡大し、販売を伸ばしました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は107億27百万円、前年同期比24.6%の増収、営業利益は14億16百万円、前年同期比84.5%の増益となりました。

<外食事業>

当事業セグメントは、国内外でのカレーレストランの運営を通じて、カレーの世界をさらに広げるべく取り組んでおります。

㈱壺番屋は、国内では全店ベースの売上高は前年同期比2.6%増、既存店ベースの売上高は同1.2%増と堅調に推移いたしました。また9月には東京秋葉原にハラル対応店舗をオープンするなど、新たなお客様接点の拡大に努めております（カレーソースはインドネシアの当社グループ会社が製造）。

海外では、これまで当社が㈱壺番屋のフランチャイジーとして展開しておりました中国、台湾におけるレストラン事業を㈱壺番屋へ移管し、事業基盤構築と競争力強化に努めております。

以上の結果、外食事業の売上高は258億8百万円、前年同期比1.5%の増収、営業損失は39百万円（前年同期は営業損失97百万円）となりました。

<その他食品関連事業>

当事業セグメントは、各社の機能強化の追求によるグループ総合力の向上に努めております。

運送・倉庫事業を営むハウス物流サービス(株)は、厳しい物流環境の中、食品企業6社での共同取組「F-LINE」の全国展開を見据え、事業の最適化、再構築に継続して取り組んでおります。

コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む㈱デリカシェフは、総菜事業を中心に開発力強化と収益改善に努めております。

㈱ヴォークス・トレーディングは、グループ内での連携強化に取り組み、調達・販売力の強化に注力しております。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は305億76百万円、前年同期比1.3%の増収、営業利益は各社の収益力改善の成果が表れ、9億66百万円、前年同期比122.5%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,640億18百万円となり、前連結会計年度末に比べて101億31百万円の増加となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金や現金及び預金、商品及び製品が増加したことなどから、86億56百万円増加の1,442億68百万円となりました。固定資産は、のれんが減少した一方で、投資有価証券が増加したことなどから、14億74百万円増加の2,197億50百万円となりました。

負債は915億65百万円となり、前連結会計年度末に比べて42億93百万円の増加となりました。

流動負債は、未払金が減少した一方で、支払手形及び買掛金、短期借入金や未払法人税等が増加したことなどから、21億22百万円増加の536億13百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が増加したことなどから、21億71百万円増加の379億52百万円となりました。

純資産は、保有する投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて58億38百万円増加の2,724億53百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は66.1%（前連結会計年度末は66.5%）、1株当たり純資産は2,342円72銭（前連結会計年度末は2,289円43銭）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境などをふまえ、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成30年3月期通期連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	292,800	13,500	14,500	7,700	74.94
今回修正予想 (B)	291,600	15,000	16,100	8,600	83.70
増減額 (B - A)	△1,200	1,500	1,600	900	—
増減率 (%)	△0.4	11.1	11.0	11.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	283,812	12,312	13,951	8,683	84.53

(注) 1. 上記の予想は、本資料発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,583	60,681
受取手形及び売掛金	45,370	49,620
有価証券	7,436	6,946
商品及び製品	10,020	11,726
仕掛品	2,008	1,865
原材料及び貯蔵品	4,563	4,792
繰延税金資産	2,682	2,821
その他	6,185	6,044
貸倒引当金	△234	△227
流動資産合計	135,612	144,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,491	29,121
機械装置及び運搬具(純額)	12,723	12,304
土地	30,394	31,205
リース資産(純額)	3,942	3,853
建設仮勘定	585	1,713
その他(純額)	2,028	1,899
有形固定資産合計	79,162	80,095
無形固定資産		
のれん	12,964	11,175
商標権	25,933	25,613
ソフトウェア	2,142	1,892
契約関連無形資産	27,787	27,304
ソフトウェア仮勘定	29	41
その他	1,094	1,062
無形固定資産合計	69,949	67,086
投資その他の資産		
投資有価証券	61,870	65,487
長期貸付金	356	356
繰延税金資産	1,223	1,120
長期預金	500	—
退職給付に係る資産	358	344
破産更生債権等	683	681
その他	5,049	5,454
貸倒引当金	△874	△872
投資その他の資産合計	69,164	72,569
固定資産合計	218,275	219,750
資産合計	353,888	364,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,584	21,755
電子記録債務	1,294	1,282
短期借入金	5,711	6,220
1年内償還予定の社債	—	26
リース債務	655	642
未払金	14,872	13,603
未払法人税等	2,680	3,166
賞与引当金	317	399
役員賞与引当金	75	55
株主優待引当金	87	90
その他の引当金	124	98
資産除去債務	3	3
その他	6,090	6,274
流動負債合計	51,492	53,613
固定負債		
社債	—	65
長期借入金	550	585
リース債務	3,390	3,292
長期末払金	298	281
繰延税金負債	24,296	25,451
役員退職慰労引当金	—	286
債務保証損失引当金	3	2
退職給付に係る負債	2,720	2,620
資産除去債務	719	809
長期預り保証金	3,508	4,066
その他	295	494
固定負債合計	35,781	37,952
負債合計	87,273	91,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,107	23,107
利益剰余金	182,501	185,083
自己株式	△12	△14
株主資本合計	215,545	218,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,297	21,527
繰延ヘッジ損益	188	108
為替換算調整勘定	1,566	1,086
退職給付に係る調整累計額	△350	△125
その他の包括利益累計額合計	19,702	22,596
非支配株主持分	31,369	31,732
純資産合計	266,615	272,453
負債純資産合計	353,888	364,018

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	136,975	143,434
売上原価	77,091	80,039
売上総利益	59,884	63,395
販売費及び一般管理費	54,533	55,939
営業利益	5,351	7,456
営業外収益		
受取利息	193	172
受取配当金	336	350
持分法による投資利益	24	35
受取家賃	370	386
その他	119	100
営業外収益合計	1,043	1,043
営業外費用		
支払利息	41	43
賃貸費用	316	317
為替差損	503	74
その他	157	54
営業外費用合計	1,017	489
経常利益	5,377	8,010
特別利益		
固定資産売却益	2	7
投資有価証券売却益	6	—
店舗売却益	92	90
段階取得に係る差益	448	—
負ののれん発生益	1,018	57
その他	70	6
特別利益合計	1,636	160
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	117	63
投資有価証券売却損	—	0
会員権評価損	—	0
減損損失	533	362
その他	50	15
特別損失合計	705	440
税金等調整前四半期純利益	6,308	7,730
法人税等	1,139	2,797
四半期純利益	5,169	4,933
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,208	4,328
非支配株主に帰属する四半期純利益	961	605

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,376	3,270
繰延ヘッジ損益	△187	△80
為替換算調整勘定	△3,124	△496
退職給付に係る調整額	213	231
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	9
その他の包括利益合計	△4,493	2,934
四半期包括利益	675	7,867
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17	7,223
非支配株主に係る四半期包括利益	692	644

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,308	7,730
減価償却費	4,514	4,442
のれん償却額	1,789	1,789
減損損失	533	362
持分法による投資損益(△は益)	△24	△35
段階取得に係る差損益(△は益)	△448	—
負ののれん発生益	△1,018	△57
会員権評価損	—	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34	△12
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△23
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△9	3
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
その他の引当金の増減額(△は減少)	—	△26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	107	144
受取利息及び受取配当金	△529	△522
支払利息	41	43
為替差損益(△は益)	321	△14
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	0
固定資産売却損益(△は益)	2	△7
固定資産除却損	117	63
店舗売却損益(△は益)	△92	△90
売上債権の増減額(△は増加)	△1,044	△4,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,597	△1,489
仕入債務の増減額(△は減少)	1,727	2,475
未払賞与の増減額(△は減少)	58	82
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,905	115
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,284	222
小計	7,504	11,168
利息及び配当金の受取額	549	521
利息の支払額	△40	△47
法人税等の支払額	△2,969	△2,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,043	9,017

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,975	△678
定期預金の払戻による収入	2,168	2,443
有価証券の取得による支出	△306	△3,188
有価証券の売却による収入	6,906	6,024
有形固定資産の取得による支出	△4,169	△4,582
有形固定資産の売却による収入	2	7
店舗売却による収入	275	298
無形固定資産の取得による支出	△332	△250
投資有価証券の取得による支出	△2,040	△1,565
投資有価証券の売却による収入	300	300
会員権の売却による収入	—	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,458	△1,266
子会社の清算による収入	30	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,599	△2,456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	34,599	33,230
短期借入金の返済による支出	△34,263	△32,754
リース債務の返済による支出	△404	△428
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△126	△170
自己株式の取得による支出	△1	△2
子会社の自己株式の取得による支出	△902	△0
子会社の所有する親会社株式の売却による収入	1,009	—
配当金の支払額	△1,535	△1,747
非支配株主への配当金の支払額	△647	△303
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△113	—
連結子会社の第三者割当増資による収入	29	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,055	△2,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,160	△173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,770	4,213
現金及び現金同等物の期首残高	44,156	55,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,385	59,807

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」および「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	60,363	17,761	8,510	25,416	24,896	136,946	—	136,946	29	136,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,970	90	99	6	5,282	7,447	—	7,447	△7,447	—
計	62,333	17,852	8,609	25,422	30,178	144,394	—	144,394	△7,418	136,975
セグメント利益又は 損失(△)	3,619	1,130	767	△97	434	5,854	—	5,854	△503	5,351

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△502百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、(株)ギャバンの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、前連結会計年度の末日に比べ、「香辛・調味加工食品事業」のセグメント資産が10,217百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、533百万円計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、(株)ギャバンの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、「香辛・調味加工食品事業」のセグメントにおいて、負ののれん発生益を1,018百万円計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	64,846	17,024	10,648	25,805	25,085	143,407	—	143,407	27	143,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,060	102	80	4	5,491	7,737	—	7,737	△7,737	—
計	66,906	17,127	10,727	25,808	30,576	151,144	—	151,144	△7,710	143,434
セグメント利益又は 損失(△)	4,770	840	1,416	△39	966	7,953	—	7,953	△497	7,456

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△497百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、店舗資産および賃貸資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、362百万円計上しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「固定負債」の「その他」に含めていた「長期預り保証金」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」の「その他」に表示していた3,803百万円は、「長期預り保証金」3,508百万円、「その他」295百万円として組み替えております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

前連結会計年度より、費目別に区分掲記しておりました「販売費及び一般管理費」について、連結損益及び包括利益計算書の一覧性および明瞭性を高めるため、「販売費及び一般管理費」として一括掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

3. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	17.3期第2四半期		18.3期第2四半期		17.3期 通期		18.3期 通期修正目標	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	136,975	121.9%	143,434	104.7%	283,812	117.3%	291,600	102.7%
営業利益	5,351	132.3%	7,456	139.3%	12,312	114.3%	15,000	121.8%
経常利益	5,377	112.2%	8,010	149.0%	13,951	114.8%	16,100	115.4%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,208	142.6%	4,328	102.9%	8,683	38.4%	8,600	99.0%
包括利益	675	50.8%	7,867	1165.1%	11,245	87.9%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	17.3期第2四半期		18.3期第2四半期		17.3期 通期		18.3期 通期修正目標	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	62,333	45.5%	66,906	46.7%	132,059	46.5%	140,000	48.0%
健康食品事業	17,852	13.0%	17,127	11.9%	33,281	11.7%	33,000	11.3%
海外食品事業	8,609	6.3%	10,727	7.5%	20,111	7.1%	22,400	7.7%
外食事業	25,422	18.6%	25,808	18.0%	51,375	18.1%	51,500	17.7%
その他食品関連事業	30,178	22.0%	30,576	21.3%	62,123	21.9%	60,000	20.6%
調整額	△ 7,418	△ 5.4%	△ 7,710	△ 5.4%	△ 15,138	△ 5.3%	△ 15,300	△ 5.3%

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	17.3期第2四半期		18.3期第2四半期		17.3期 通期		18.3期 通期修正目標	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	3,619	67.6%	4,770	64.0%	9,885	80.3%	11,200	74.7%
健康食品事業	1,130	21.1%	840	11.2%	1,334	10.8%	1,000	6.7%
海外食品事業	767	14.4%	1,416	19.0%	1,681	13.7%	2,600	17.3%
外食事業	△ 97	△ 1.8%	△ 39	△ 0.5%	△ 424	△ 3.4%	△ 200	△ 1.3%
その他食品関連事業	434	8.1%	966	13.0%	719	5.8%	1,700	11.3%
調整額	△ 503	△ 9.4%	△ 497	△ 6.7%	△ 883	△ 7.2%	△ 1,300	△ 8.7%

(2) グループ会社数

	17.3期第2四半期	18.3期第2四半期	17.3期
連結子会社数	36社	38社	36社
国内	14社	15社	14社
海外	22社	23社	22社
持分法適用関連会社	3社	4社	4社
国内	1社	2社	2社
海外	2社	2社	2社

《18.3期第2四半期主要子会社実績》

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		四半期純利益	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
ハウス食品(株)	62,666	103.9%	4,388	125.4%	3,202	131.3%
ハウスウェルネスフーズ(株)	17,127	95.9%	842	74.4%	687	60.1%
ハウスフーズアメリカ社(連結)	6,199	112.7%	625	118.8%	399	120.7%
(株)吉番屋(連結)	24,708	101.8%	2,496	101.3%	1,671	93.3%

※連結対象期間 ハウスフーズアメリカ社：2017年1月～6月 (株)吉番屋：2017年3月～8月

※(株)吉番屋は17年3月に海外レストラン事業を再編しており、前期比は組替後の数値と比較しております。

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	17.3期第2四半期		18.3期第2四半期		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	136,975	100.0%	143,434	100.0%	6,459	4.7%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	62,333	45.5%	66,906	46.7%	4,573	7.3%
健康食品事業	17,852	13.0%	17,127	11.9%	△725	△4.1%
海外食品事業	8,609	6.3%	10,727	7.5%	2,118	24.6%
外食事業	25,422	18.6%	25,808	18.0%	386	1.5%
その他食品関連事業	30,178	22.0%	30,576	21.3%	398	1.3%
調整額	△7,418	△5.4%	△7,710	△5.4%	△291	—
売上原価	77,091	56.3%	80,039	55.8%	2,948	3.8%
販売費・一般管理費	54,533	39.8%	55,939	39.0%	1,406	2.6%
広告宣伝費	4,763	3.5%	4,783	3.3%	19	0.4%
運送費及び保管費	4,539	3.3%	4,974	3.5%	435	9.6%
販売手数料	1,198	0.9%	1,213	0.8%	14	1.2%
販売促進費	15,020	11.0%	15,384	10.7%	364	2.4%
人件費	14,235	10.4%	14,599	10.2%	364	2.6%
研究開発費	1,847	1.3%	1,921	1.3%	73	4.0%
のれん償却額	1,789	1.3%	1,789	1.2%	△0	△0.0%
営業利益	5,351	3.9%	7,456	5.2%	2,105	39.3%
営業外収益	1,043	0.8%	1,043	0.7%	1	0.0%
営業外費用	1,017	0.7%	489	0.3%	△528	△51.9%
経常利益	5,377	3.9%	8,010	5.6%	2,633	49.0%
特別利益	1,636	1.2%	160	0.1%	△1,476	△90.2%
特別損失	705	0.5%	440	0.3%	△265	△37.6%
税金等調整前四半期純利益	6,308	4.6%	7,730	5.4%	1,422	22.5%
法人税等	1,139	0.8%	2,797	1.9%	1,658	145.6%
四半期純利益	5,169	3.8%	4,933	3.4%	△235	△4.6%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,208	3.1%	4,328	3.0%	120	2.9%
非支配株主に帰属する四半期純利益	961	0.7%	605	0.4%	△356	△37.0%
四半期包括利益	675	0.5%	7,867	5.5%	7,192	1065.1%

② 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

売上総利益の増加	3,510
運送費及び保管費の増加	△ 435
マーケティングコスト（広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計）の増加	△ 397
給料手当及び賞与の増加	△ 288
研究開発費の増加	△ 73
その他費用の増加	△ 212

③ 営業外損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	17. 3期第2四半期	18. 3期第2四半期	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	193	172	△ 21
受取配当金	336	350	14
持分法による投資利益	24	35	11
受取家賃	370	386	16
その他	119	100	△ 19
営業外収益計	1,043	1,043	1
支払利息	41	43	2
為替差損	503	74	△ 429
賃貸費用	316	317	2
その他	157	54	△ 103
営業外費用計	1,017	489	△ 528

④ 特別損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	17. 3期第2四半期	18. 3期第2四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	2	7	5
投資有価証券売却益	6	—	△ 6
負ののれん発生益	1,018	57	△ 961
店舗売却益	92	90	△ 1
段階取得に係る差益	448	—	△ 448
その他	70	6	△ 64
特別利益計	1,636	160	△ 1,476
固定資産売却損	4	0	△ 4
固定資産除却損	117	63	△ 54
投資有価証券売却損	—	0	0
会員権評価損	—	0	0
減損損失	533	362	△ 172
その他	50	15	△ 36
特別損失計	705	440	△ 265

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	17.3期末		18.3期 第2四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	135,612	38.3%	144,268	39.6%	8,656	受取手形及び売掛金の増加 4,251 現金及び預金の増加 3,098 たな卸資産の増加 1,792 有価証券の減少 △ 490
固定資産	218,275	61.7%	219,750	60.4%	1,474	投資有価証券の増加 3,616 のれんの減少 △ 1,789 長期預金の減少 △ 500
資産合計	353,888	100.0%	364,018	100.0%	10,131	
流動負債	51,492	14.6%	53,613	14.8%	2,122	支払手形及び買掛金の増加 2,172 短期借入金の増加 509 未払法人税等の増加 486 未払金の減少 △ 1,269
固定負債	35,781	10.1%	37,952	10.4%	2,171	繰延税金負債の増加 1,155 長期預り保証金の増加 558 役員退職慰労引当金の増加 286
負債合計	87,273	24.7%	91,565	25.2%	4,293	
株主資本合計	215,545	60.8%	218,124	59.9%	2,580	利益剰余金の増加 2,582
その他の包括利益 累計額合計	19,702	5.6%	22,596	6.2%	2,895	その他有価証券評価差額金の増加 3,230 退職給付に係る調整累計額の増加 225 為替換算調整勘定の減少 △ 480
非支配株主持分	31,369	8.9%	31,732	8.7%	363	
純資産合計	266,615	75.3%	272,453	74.8%	5,838	
負債純資産合計	353,888	100.0%	364,018	100.0%	10,131	

(5) 連結キャッシュ・フローの状況

《連結キャッシュ・フローの主な増減内容》

(単位：百万円)

	17.3期第2四半期 累計期間	18.3期第2四半期 累計期間	対前年同期 増減	主な増減内容
営業活動による キャッシュ・フロー	5,043	9,017	3,973	その他の資産の増減額 2,020 その他の負債の増減額 1,506 税金等調整前四半期純利益 1,422 負ののれん発生益 961 仕入債務の増減額 748 売上債権の増減額 △ 2,982
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,599	△ 2,456	2,143	連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 3,192 定期預金の預入による支出 2,297 有価証券の取得による支出 △ 2,882
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,055	△ 2,175	△ 120	短期借入れによる収入 △ 1,369 子会社の所有する親会社株式の売却による収入 △ 1,009 短期借入金の返済による支出 1,509 子会社の自己株式の取得による支出 902
現金及び現金同等物 四半期末残高	41,385	59,807	18,421	

(6) 設備投資の状況

《連結》 (単位：百万円)

	17.3期 第2四半期	18.3期 第2四半期
設備投資	2,551	3,210
リース	280	362
合計	2,830	3,572

(7) 減価償却費の状況

《連結》 (単位：百万円)

	17.3期 第2四半期	18.3期 第2四半期
減価償却費	4,514	4,442
支払リース料	162	160
合計	4,676	4,602

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

(8) 主要経営指標等

《連結》

	18.3期第2四半期	17.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	42.12 円	84.53 円
一株当たり純資産	2,342.72 円	2,289.43 円
自己資本当期純利益率	—	3.7 %
総資産経常利益率	—	4.0 %
売上高経常利益率	5.6 %	4.9 %
総資本回転率	—	0.81 回
流動比率	269.1 %	263.4 %
固定比率	91.3 %	92.8 %
負債比率	38.0 %	37.1 %
自己資本比率	66.1 %	66.5 %

配当金(1株当たり)	18.00 円	32.00 円
配当性向	42.7 %	37.9 %
利益配分の基本方針に基づく配当性向	30.5 %	30.4 %

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従業員数	6,446 人	6,248 人
------	---------	---------

◎休職者・パートを含みません。

(9) 通期目標

《連結》

(単位：百万円)

	17.3期	18.3期 修正目標	対前期増減
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	132,059	140,000	7,941
健康食品事業	33,281	33,000	△ 281
海外食品事業	20,111	22,400	2,289
外食事業	51,375	51,500	125
その他食品関連事業	62,123	60,000	△ 2,123
調整額	△ 15,138	△ 15,300	△ 162
売上高	283,812	291,600	7,788
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	9,885	11,200	1,315
健康食品事業	1,334	1,000	△ 334
海外食品事業	1,681	2,600	919
外食事業	△ 424	△ 200	224
その他食品関連事業	719	1,700	981
調整額	△ 883	△ 1,300	△ 417
営業利益	12,312	15,000	2,688
経常利益	13,951	16,100	2,149
親会社株主に帰属する当期純利益	8,683	8,600	△ 83
包括利益	11,245	-	-

《連結設備投資》

(単位：百万円)

	17.3期	18.3期 修正目標
設備投資	7,708	11,500
リース	470	500
合計	8,178	12,000

《連結減価償却費》

(単位：百万円)

	17.3期	18.3期 修正目標
減価償却費	9,345	9,200
支払リース料	346	500
合計	9,691	9,700